

津波対応シートについて

- 津波避難行動のために最低限**必要な3ステップ**を**1枚紙の表裏**にとりまとめ
 - ① 事前に記入すべき基本事項
 - ② 地震・津波発生時に確認し、判断材料となる情報
 - ③ 津波対応行動の際のチェックリスト
- 小規模事業者を中心に普及予定

津波対応シート

事前に、船舶運航事業者が基本情報を記入
地震・津波発生時に、船長が情報を確認





港・船舶情報

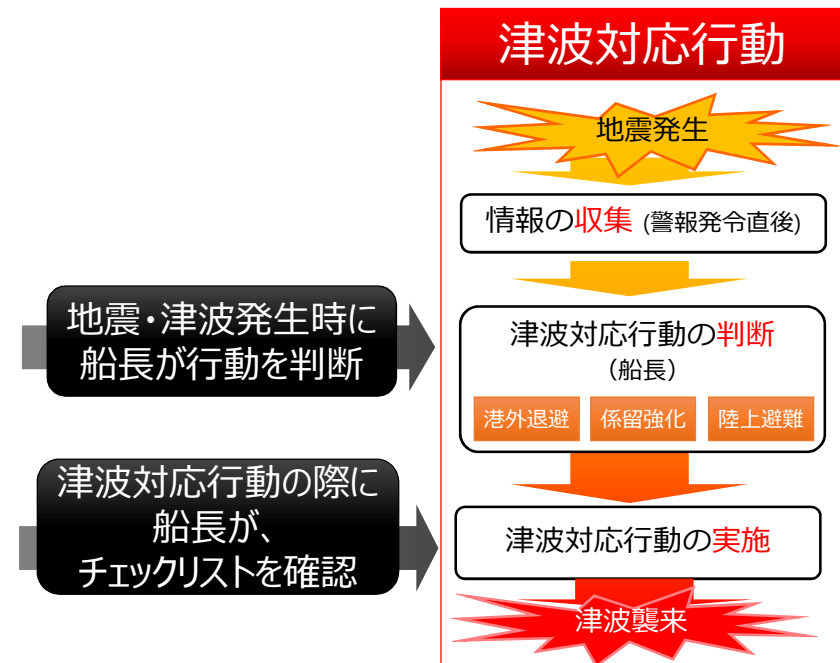
避難先情報

連絡先

津波対応
(判断目安)

チェックリスト

〔 平成28年7月公表 〕



津波対応シートの例

記入者: _____ 【 _____ 港】 貨物船用

津波対応 確認事項

港・船舶情報

| | | |
|-------|-------|------------|
| 港名: | 着岸方法: | 入船・出船 |
| 着岸岸壁: | 岸壁: | 耐震強化・非耐震強化 |
| 船名: | 総トン数: | |
| 船種: | 乗員: | 人 積荷: |

避難基本情報

避難海域: ()から()度()m 水深: m
 北緯: 東経: 避難海域までの到達時間: 分
 陸上退避場所: 操船支援可否: タグ (要・否)

連絡先

| | |
|-------|--------|
| 代理店: | 運航会社: |
| ステベ: | 港長: |
| 綱取り: | 海上保安部: |
| タグ会社: | その他: |

可能な限り、事前に津波情報を確認 想定最大津波高: m (到達時間:)

津波到達時間に応じた津波対応(判断目安)

| 警報レベル | 津波高さ | 着岸中 | | 錨泊中 | |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|
| | | 分以内 | 分以上 | 分以内 | 分以上 |
| 大津波警報 | 3m以上 | | | | |
| 津波警報 | 1~3m | | | | |
| 津波注意報 | 1m未満 | | | | |

地震・津波発生!!

| 地震情報 | | | | |
|------|----|---|-----|----|
| 時刻 | 規模 | M | 発生地 | 震度 |
| 時 分 | | | | |

津波情報

| | | |
|--------|-------|-------|
| 大津波警報 | 津波警報 | 津波注意報 |
| 津波到達時間 | 津波予想高 | m |
| 分 | | |

船長判断

↓
港外退避

↓
係留強化

↓
陸上避難

入港前にあらかじめ確認
 船舶運航事業者が事前に記入(荷主、船長等と確認)

津波対応(判断目安)

地震津波発生時に判断
 船長が判断

(表)

貨物船用

チェックリスト

(可能な限り、各作業の想定所要時間を事前に記入)

津波情報の収集手段を確保し、情報収集
(テレビ・ラジオ・VHF)

港長・港湾管理者等の
指示の有無を確認

港外退避の場合

- ① 荷役作業の中止 (分)
- ② 乗組員の招集 (分)
- ③ 離棧・出港(エンジン及びスラスタ)の準備 (分)
- ④ タグ、水先人及び綱取り支援の有無
- ⑤ 荷役設備(クレーン・ローディングアーム・蛇腹シュート等)の格納確認
- ⑥ 出港航路の状況(障害物及び他船の存在)を確認
- ⑦ 係留索の解らん、又は切断 → 出港 (分)
- ⑧ 出港後、陸上の関連部署、運航会社に連絡 緊急出港まで (分)

最新の津波情報の聴取継続
(テレビ・ラジオ・VHF)

係留強化の場合

- ① 乗組員の招集 (分)
- ② 係留索の巻き締め、増し取り/係留索ウインチのブレーキ増し締め (分)
- ③ アンカーの準備 (分)
- ④ エンジン及びスラスタの準備(索切断、漂流に備えて) (分)
- ⑤ 荷役中断等の協議、指示 (分)
- ⑥ 防水措置(全防水扉の閉鎖、海水弁の閉鎖など)の確認 (分)
- ⑦ 陸上の関連部署、運航会社に連絡・確認 係留措置完了まで (分)
- ⑧ 情報収集の継続
(港長・港湾管理者等からの助言、避難指示に対する準備)
(港外退避する場合の安全(避難)水域の確認)
(陸上退避する場合の退避先、退避経路等の確認)

最新の津波情報の聴取継続
(テレビ・ラジオ・VHF)

陸上避難の場合

- ① 乗組員の点呼・確認 (分)
- ② 退避先、退避経路、所要時間等の確認
- ③ 総員陸上避難の指示 (分)
- ④ 総員の陸上避難までの必要な船内作業 (分)
(荷役設備等の船・陸間の接続をできれば離脱しておく) 退船まで (分)

最新の津波情報の聴取継続
(テレビ・ラジオ・VHF)

漂流した場合の留意(補足)

係留対応中に船体が岸壁から離れる場合、係留索の切断、カントリークレーンやアンローダーが倒壊する恐れがあるので、乗組員は安全な場所に避難する

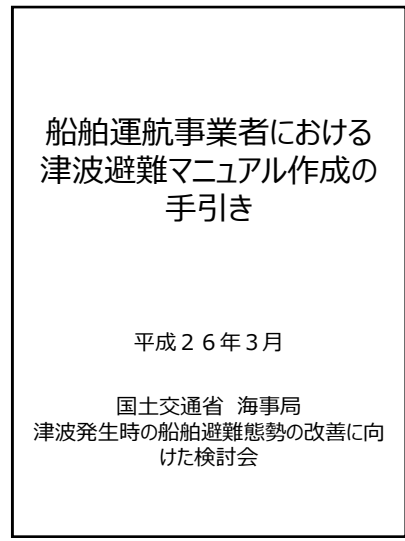
(裏)

船舶津波避難マニュアル作成の改良について



船舶津波避難マニュアル作成の手引き書

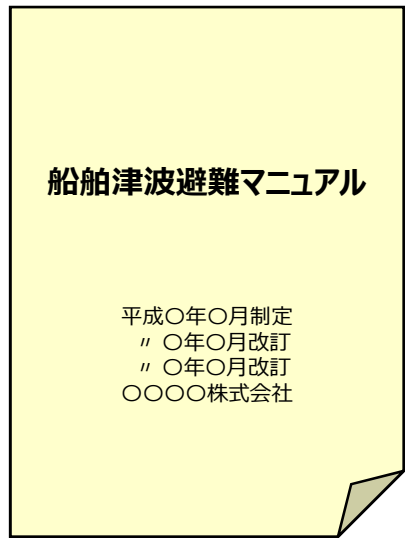
〔平成26年3月公表〕



- <特徴>
- 約90ページにわたるマニュアル作成のための手引き書
 - マニュアルに必要な情報やその入手先を網羅
 - 津波発生時の船舶の対応フロー、船長判断に必要な情報等が明示

モデル的なマニュアル (簡易マニュアル様式)

〔平成27年6月公表〕



- <特徴>
- 6ページにまとめたマニュアル様式
 - 作成にあたり、大幅に負担を軽減
 - 5つの主な項目についてコンパクトに例示

津波対応シート

〔平成28年7月公表〕

- <特徴>
- 1枚のシートにまとめたもの
 - 小規模事業者を中心に普及予定
 - マニュアルに必要な主要ポイントだけを整理した様式、容易に利用